学生の視点でみたSR(Social Responsibility)

2011年度版

レジ袋有料化についての学生の意識調査

比治山大学短期大学部総合生活デザイン学科

はしがき

2011年度のゼミでは、広島市が行っているスーパーマーケットのレジ袋無料配布中止に着眼し、この施策が広島県内の大学生に、どのような変化をもたらしているのかを調査しました。社会環境の変化は社会制度の変化をもたらし、自治体レベルでの具現化へとつながります。環境への意識高揚を目的とした同施策が、未来を担う若者にどう受け止められているか、どう行動を変えたかが、調査結果に如実に表れています。

しかし、問題はそう単純なものではありません。環境保護に良かれと思って行ったことが、新たな外部性を生じることもあります。ではその施策をしない方が良かったか、というとそうではないでしょう。こうした社会の矛盾や複雑さを感じることもできる調査です。

本冊子は以下のように構成されています。まずⅠでは、資源有効利用促進法及び、容器包装リサイクル法の概要を確認し、問題の背景を述べています。Ⅱでは調査概要・結果を示しています。Ⅲではレジ袋の無料配布を中止した企業の動向を確認しました。Ⅳは考察です。

ここに2011年度のゼミ生と「学生の視点でみたSR　レジ袋有料化についての学生の意識調査」を発刊することができました。このような報告書をまとめ始めて、9年目となります。ご協力くださいました中国経済産業局、広島市環境局の皆様方には厚く御礼申し上げます。またアンケートに答えてくれた広島県内の学生の皆様にも感謝します。極力学生の言葉で本人が見たことを記述するよう促してまいりました。解釈や文章表現の稚拙な箇所もあろうかと思いますが、ご容赦ください。

今後も息長く、報告書を続刊したいと考えています。この報告書を手にされました皆様方、ご協力とご指導をどうぞよろしくお願い申し上げます。

比治山大学短期大学部
総合生活デザイン学科
粟　屋　仁　美

目次

はしがき

Ⅰ．問題の背景…… 1

Ⅱ．調査概要・結果…… 1

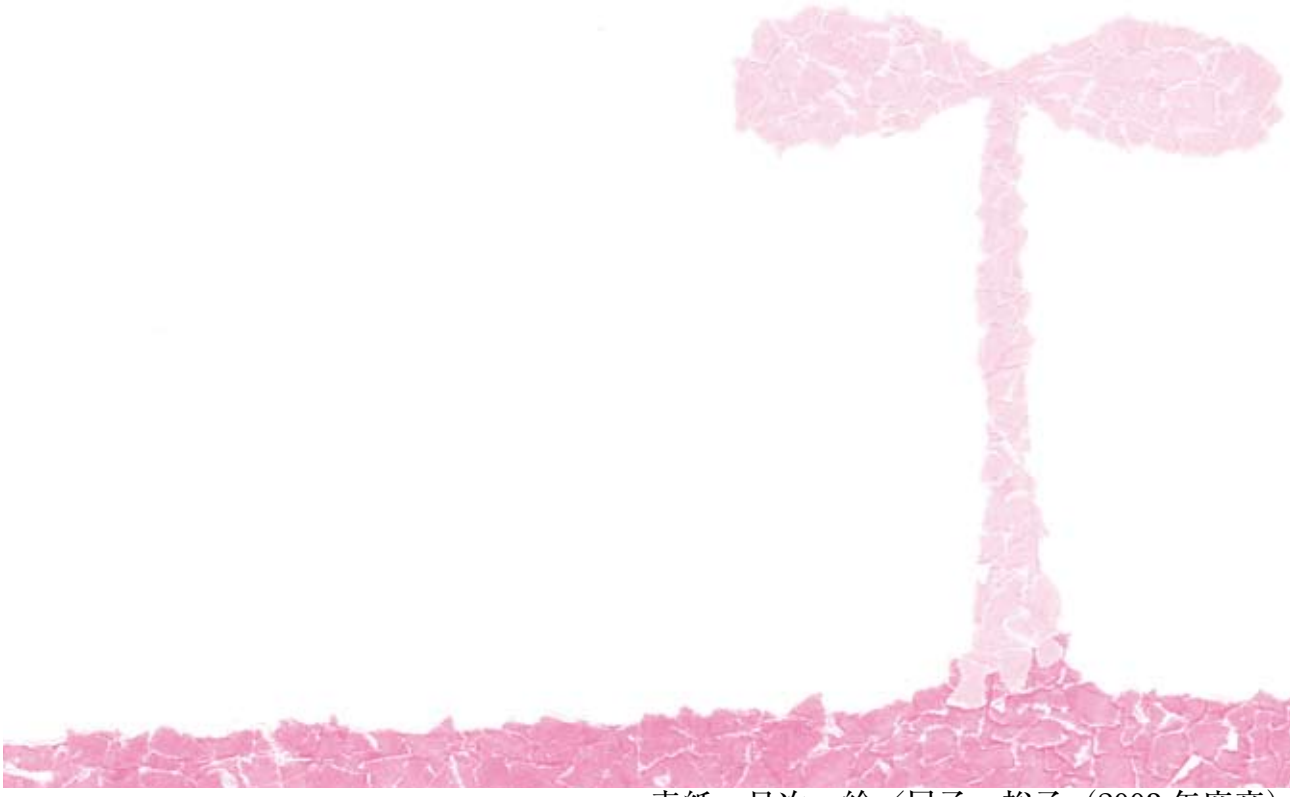
アンケート質問紙

Ⅲ．企業のレジ袋等の削減による収益金とその使用用途……12

Ⅳ．考察……13

謝辞……14

執筆者紹介……14



表紙・目次・絵／尼子　裕子（2003 年度卒）

Ⅰ．問題の背景

スーパーのレジ袋について研究する上で、資源有効利用促進法及び、容器包装リサイクル法等を知る必要がある。そこで、20011年４月18日に中国経済産業局を訪れた。その際、以下の話を伺った。

資源有効利用促進法とは、３R（reduce、reuse、recycle）を進めるべき業種及び品目についてまとめた法律である。

特定省資源化製品及び特定再利用製品のうち、特に重要とされた品目については、個別リサイクル法が制定されている。

その中に「容器包装リサイクル法」がある。この法律は、「容器包装廃棄物の排出の抑制並びにその分別収集及びこれにより得られた分別基準適合物の再商品化を促進するための措置を講ずること等により、一般廃棄物の減量及び再生資源の十分な利用等を通じて、廃棄物の適正な処理及び資源の有効な利用の確保を図り、もって生活環境の保全及び国民経済の健全な発展に寄与すること」（資源有効利用促進法第１条）を目的としている。

この法律では、容器包装廃棄物の、排出の抑制・分別収集・再商品化が求められている。

現在、一般廃棄物の60.1％を容器包装が占めているため、（環境省HP引用）容器包装のリサイクルが活発にすすめられている。その中で、レジ袋の無料配布中止の取り組みがある。

広島県では、福山市及び三次市を除き、平成21年10月から一斉にレジ袋の無料配布を中止している。レジ袋辞退率は平均86.2％となっており、削減されたレジ袋枚数は約２億枚、石油の消費削減量は約3,732キロリットル、二酸化炭素排出抑制量は7,953tとなった。（平成22年９月現在）（広島県資料より）

以上が中国経済産業局で伺った内容である。以上の説明を受けて私たちは以下のような所感を持った。

レジ袋をもらう人は減ったが、それまでは、無料配布されたレジ袋をゴミ袋として使う人もいたのではないだろうか。そういった人たちは、別途、ゴミ袋として、ビニール袋を買っているのではないだろうか。そうなると、削減されたレジ袋分の二酸化炭素排出量は本当に削減されたと言えるのだろうか。

エコバックについては、普段から持ち歩く習慣がないと、改めてエコバックを買うこともある。エコバックの必要性から、宣材品としてエコバックを配布する企業も増えている。気づけば、家に複数個のエコバックがあることも考えられる。

また、企業のレジ袋削減による収益金はどうなっているのか。

以上のことを考えると、本当にレジ袋削減はエコなのだろうか。という疑問が出てきた。そこで、広島県内の学生に対し、レジ袋有料化に関する意識をアンケート調査で、レジ袋有料化に伴う企業の動向をWeb上のホームページで調査した。

Ⅱ．調査概要・結果

●調査概要

①調査の目的　学生のレジ袋有料化に対する意識について現状把握することが目的である。

②調査方法　アンケート調査（配布式）

③調査対象　大学生

④調査期間　2011年　６月

⑤有効回収数　471枚

（調査用紙は11ページ参照）

１．調査対象・属性

性別

表１-１　　男女別アンケート回答者

性別	人	（%）
男	174	（36.9%）
女	289	（61.4%）
無回答	8	（1.7%）
計（人）	471	（100%）

年齢

表１-２　　年齢別アンケート回答者

年齢	男	（%）	女	（%）	無回答	計（人）	計（%）
18歳	16	（9.2%）	17	（5.9%）	1	34	（7.2%）
19歳	82	（47.1%）	152	（52.6%）	3	237	（50.3%）
20歳	41	（23.6%）	81	（28.0%）	0	122	（25.9%）
21歳	24	（13.8%）	29	（10.0%）	0	53	（11.3%）
22歳	6	（3.4%）	5	（1.7%）	1	12	（2.5%）
23歳	1	（0.6%）	2	（0.7%）	0	3	（0.6%）
26歳	1	（0.6%）	1	（0.3%）	0	2	（0.4%）
31歳	1	（0.6%）	0	（0.0%）	0	1	（0.2%）
無回答	2	（1.1%）	2	（0.7%）	3	7	（1.5%）
計（人）	174	（36.9%）	289	（61.4%）	8	471	

大学

表１-３　　大学別アンケート回答者

	男	女	無回答	計（人）	計（%）
広島経済大学	47	15	1	63	（13.4%）
広島酔心調理専門学校	26	27	1	54	（11.5%）
広島修道大学	37	15	0	52	（11.0%）
広島工業大学	27	18	1	46	（9.8%）
安田女子大学	3	36	3	37	（7.9%）
安田女子短期大学	0	36	1	25	（5.3%）
広島女学院大学	0	25	0	25	（5.3%）
広島美容専門学校	0	25	0	20	（4.2%）
広島文化学園短大	1	19	0	20	（4.2%）
文教女子大学	6	14	0	18	（3.8%）
広島製菓専門学校	0	17	1	13	（2.8%）
石田あさきトータルファッション専門学校	6	7	0	11	（2.3%）
広島国際大学	1	10	0	11	（2.3%）
鈴峯女子短期大学	9	2	0	9	（1.9%）
広島工業大学専門学校	0	9	0	5	（1.1%）
山陽女子短期大学	3	2	0	3	（0.6%）
比治山大学	1	2	0	3	（0.6%）
広島高等歯科衛生士専門学校	0	3	0	3	（0.6%）
広島国際学院大学自動車短期大学	3	0	0	3	（0.6%）
広島国際学院大学	0	3	0	2	（0.4%）
広島医師会	2	0	0	1	（0.2%）
IGL専門学校	0	1	0	1	（0.2%）
広島工学院大学校	0	1	0	1	（0.2%）
日本赤十字広島看護大学	0	1	0	1	（0.2%）
山陽女子大学	1	0	0	1	（0.2%）
広島文化学園大学	0	1	0	1	（0.2%）
無回答	1	0	0	42	（8.9%）
計（人）	174	289	8	471	

現住所

表１-４　　現住所別アンケート回答者

都道府県	市・郡	居住者
広島県	広島市	359
	東広島市	15
	呉市	14
	安芸郡	25
	廿日市市	22
	大竹市	5
	五日市氏	1
	安芸高田市	1
	江田島市	1
	高田郡	1
	三原市	1
	福山市	1
	不明	5
山口県	不明	7
無回答	無回答	13
	計	471

自宅から通学か、一人暮らしか

表１-５　　自宅から通学か、一人暮らしか

	計（人）	計（%）
自宅から通学	127	(27.0%)
一人暮らし	322	(68.4%)
親元を離れ兄弟姉妹と生活	11	(2.3%)
無回答	11	(2.3%)
計（人）	471	

２．調査結果

問１　あなたはスーパーで買い物をした場合に、商品をどうやって持ち帰りますか？

■女性は、スーパーで買い物をした場合に商品を「持参したエコバックに入れる」が48.8%と最も多く、続いて「鞄に入れる」が35.2%となっている

■男性は「鞄に入れる」が31.9%と最も多く、続いて「レジ袋を買って入れる」が23.9%となっている

□女性のエコバック持参率が高いことから、エコバックは女性の間でおしゃれアイテムとなっているのではないかと考えられる

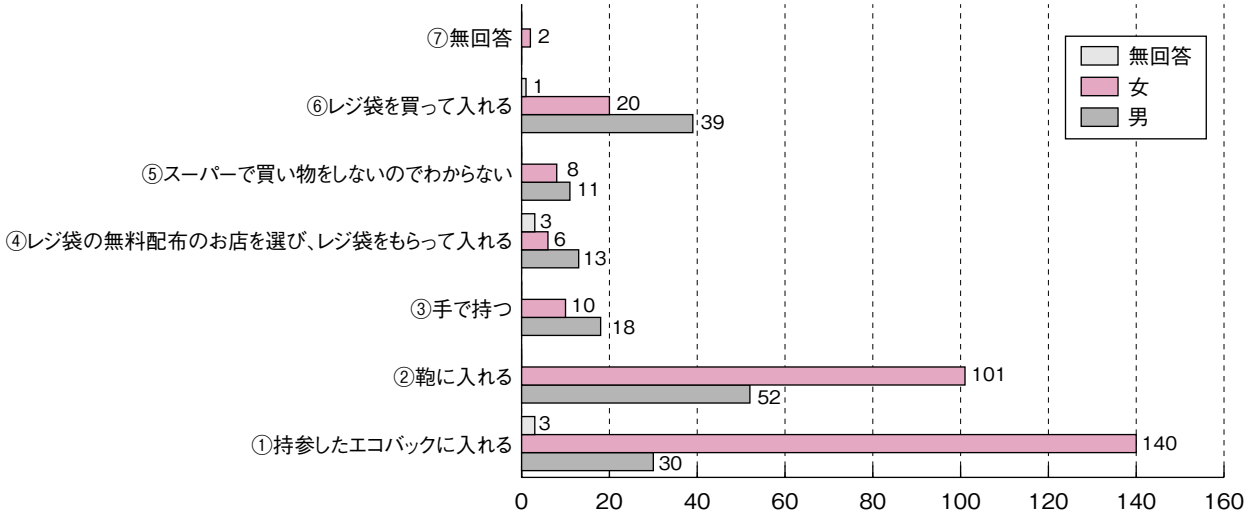
□また、エコバックはただの買い物袋としてだけではなく、鞄の役割も兼ねているとも考えられる

□女性が「持参したエコバックに入れる」又は「鞄に入れる」に対し男性は「鞄に入れる」又は「レジ袋を買って入れる」が多いことから、女性の方が節約思考が強いのではないかと考えられる

表２-１　あなたはスーパーで買い物をした場合に、商品をどうやって持ち帰りますか？回数の多いものを一つ選んでください。

商品をどうやって持ち帰りますか？	男	（%）	女	（%）	無回答	計（人）	計（%）
①持参したエコバックに入れる	30	(18.4%)	140	(48.8%)	3	179	(38.0%)
②鞄に入れる	52	(31.9%)	101	(35.2%)	0	157	(33.3%)
③手で持つ	18	(11.0%)	10	(3.5%)	0	29	(6.2%)
④レジ袋の無料配布のお店を選び レジ袋をもらって入れる	13	(8.0%)	6	(2.1%)	3	23	(4.9%)
⑤スーパーで買い物をしないのでわからない	11	(6.7%)	8	(2.8%)	0	20	(4.2%)
⑥レジ袋を買って入れる	39	(23.9%)	20	(7.0%)	1	61	(13.0%)
⑦無回答	0	(0.0%)	2	(0.7%)	0	2	(0.4%)
計（人）	163	(34.6%)	287	(60.9%)	7	471	

図２-１　スーパーで買い物したときどうやって持ち帰るか。男女比較



問２　あなたはコンビニエンスストアで買い物をした場合に、商品をどうやって持ち帰りますか？

■男女共にコンビニで買い物をした場合に商品を「レジ袋に入れてもらう」が64.1％と最も多く、続いて「鞄に入れる」20.8％となっている

■３番目に多いのが、女性は「持参したエコバックに入れる」の7.0％、男性は「手で持つ」の13.5％となっている

□「レジ袋に入れてもらう」が最も多いのは、コンビニのレジ袋が無料であることが大きな要因であると考えられるが、コンビニが急な買い物、気軽な買い物に適しているため、あらかじめエコバックを用意して買い物に行くという習慣がないこともひとつの要因ではないかと考えられる

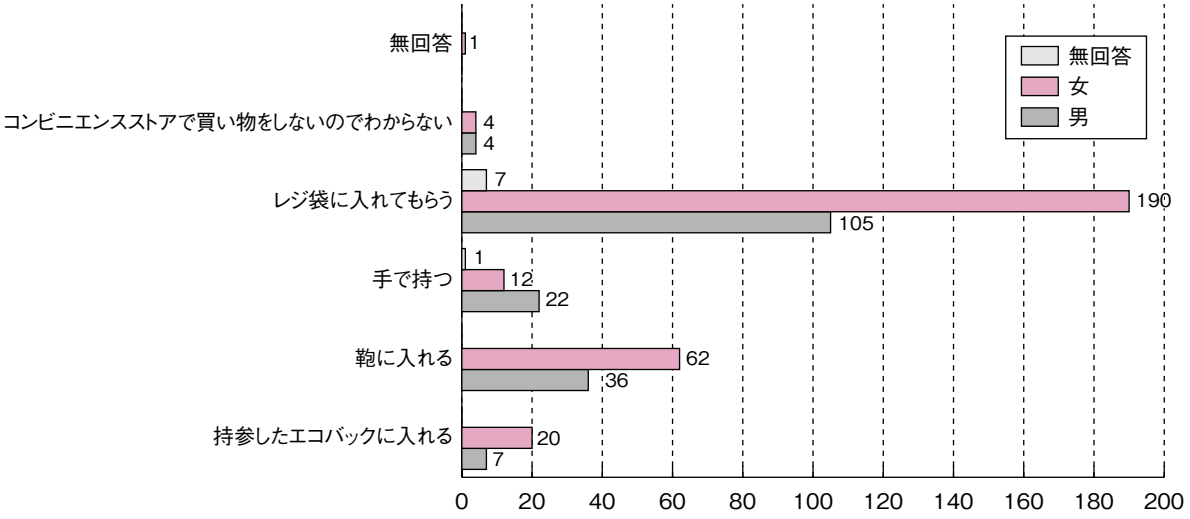
□女性が「持参したエコバックに入れる」に対し、男性が「手で持つ」が最も多いことから、男性が鞄をあまり持ち歩いていないと考えられる

□問１のスーパーと比較して、レジ袋が無料だとレジ袋をもらう人が増えたことからも、女性は節約思考が強いと考えられる

表２-２　あなたはコンビニエンスストアで買い物をした場合に、商品をどうやって持ち帰りますか？
回数の多いものを一つ選んでください。

商品をどうやて持ち帰りますか？	男　（%）	女　（%）	無回答	計（人）計（%）
持参したエコバックに入れる	7　（4.3%）	20　（7.0%）	0	27　（5.7%）
鞄に入れる	36　（22.1%）	62　（21.6%）	0	98　（20.8%）
手で持つ	22　（13.5%）	12　（4.2%）	1	35　（7.4%）
レジ袋に入れてもらう	105　（64.4%）	190　（66.2%）	7	302　（64.1%）
コンビニエンスストアで買い物をしないのでわからない	4　（2.5%）	4　（1.4%）	0	8　（1.7%）
無回答	0　（0.0%）	1　（0.3%）	0	1　（0.2%）
計（人）	174	289	8	471　（100.0%）

図２-２　コンビニで買い物をしたとき、どうやって持ち帰るか。男女比較



問３　問１で①持参したエコバックに入れると回答した方に伺います。
エコバッグはどこで入手しましたか？（複数回答可）

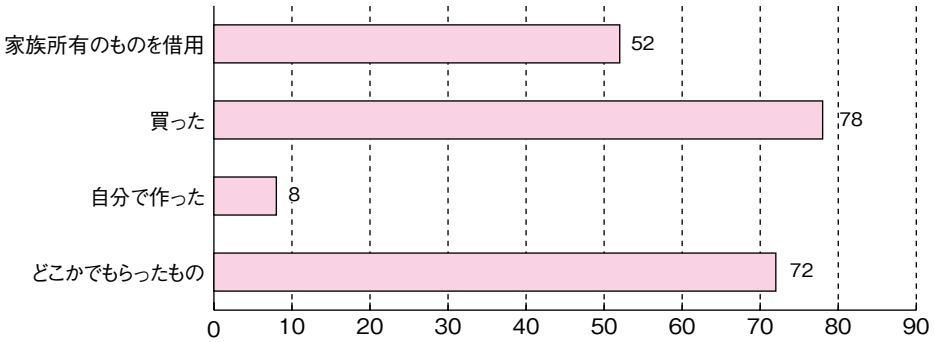
■エコバックの入手先は「買った」が78人と最も多いが、「どこかでもらったもの」も72人とほぼ同じである

□「どこかでもらったもの」が３分の１を占めていることから、中国新聞などの無料配布や雑誌の付録などが、エコバック持参を習慣づけるのに非常に効果的であると考えられる

表２-３　問１で①と回答した方に伺います。エコバッグはどこで入手しましたか？（複数回答可）

エコバッグの入手先は？	計（人）
どこかでもらったもの	72
自分で作った	8
買った	78
家族所有のものを借用	52

図２-３　　エコバッグ入手先



問４　自分用のエコバッグを何枚持っていますか？

■女性は自分用のエコバックを「１枚」持っているが35.3％と最も多く、続いて「０枚」が27.0％となっている

■男性は「０枚」が45.4％と最も多く、続いて「１枚」が31.0％となっている

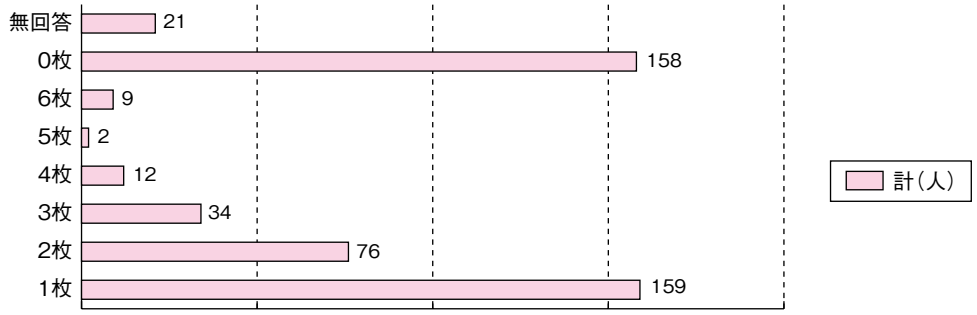
■男女合わせて61.9％もの人が自分用のエコバックを所有している

□61.9％もの人が自分用のエコバックを所有しているにも関わらず、スーパーへのエコバック持参率は38.0％であることから、多くのエコバックが活用されていないと考えられる

表２-４　自分用のエコバッグを何枚持っていますか？

自分用のエコバッグを何枚持っていますか？	男　（%）	女　（%）	無回答（%）	計（人）（%）
１枚	54　(31.0%)	102　(35.3%)	3　(37.5%)	159　(33.8%)
２枚	18　(10.3%)	57　(19.7%)	1　(12.5%)	76　(16.1%)
３枚	10　(5.7%)	21　(7.3%)	3　(37.5%)	34　(7.2%)
４枚	1　(0.6%)	11　(3.8%)	0　(0.0%)	12　(2.5%)
５枚	0　(0.0%)	2　(0.7%)	0　(0.0%)	2　(0.4%)
６枚	4　(2.3%)	5　(1.7%)	0　(0.0%)	9　(1.9%)
０枚	79　(45.4%)	78　(27.0%)	1　(12.5%)	158　(33.5%)
無回答	8　(4.6%)	13　(4.5%)	0　(0.0%)	21　(4.5%)
計（人）	174	289	8	471　(100%)

図２-４エコバッグ所持数



問５　あなたは、2010年10月から、広島県（一部除く）ではレジ袋が有料になったことをしっていましたか？

■レジ袋有料化を「知っていた」が90.9％と最も多い

□昨年10月からのレジ袋有料化が浸透しているということが分かる

表２-５　自宅別レジ袋有料化の

レジ袋有料化を知っていますか？	自宅通学（%）	一人暮らし（%）	兄弟生活（%）	無回答　（%）	計（人）（%）
知っていた	115　(90.6%)	293　(91.0%)	9　(81.8%)	11　(100.0%)	428　(90.9%)
知らなかった	10　(7.9%)	16　(5.0%)	2　(18.2%)	0　(0.0%)	28　(5.9%)
無回答	2　(1.6%)	13　(4.0%)	0　(0.0%)	0　(0.0%)	15　(3.2%)
計（人）	127	322	11	11	471　(100%)

問６　あなたは、これまで無料配布されていたレジ袋は、どのように扱っていましたか？（複数回答可）

■無料配布されていたレジ袋を「ゴミ袋として使っていた」が60.9％と最も多く、続いて「今後のために、とりあえず家のどこかに納めておいた」が18.0％、「何かを入れるための収納袋として使っていた」が11.8％となっている

■「捨てていた」は8.4％と１割にも満たない

□無料配布されたレジ袋はゴミ袋又は収納袋として使われていたことが多いことから、レジ袋を無駄なものと考えるのは短絡的ではないかと考えられる

□レジ袋有料化により、ゴミ袋の別途購入が増えたと考えられる

表２-６　あなたは、これまで無料配布されていたレジ袋は、どのように扱っていいましたか？（複数回答可）

レジ袋の扱い方	男　（%）	女　（%）	無回答　（%）	計（人）（%）
捨てていた	21　（10.8%）	24　（7.3%）	0　（0.0%）	45　（8.4%）
ゴミ袋として使っていた	111　（56.9%）	210　（63.4%）	4　（50.0%）	325　（60.9%）
何かを入れるための収納袋として使っていた	26　（13.3%）	36　（10.9%）	1　（12.5%）	63　（11.8%）
今後のために、とりあえず家のどこかに納めておいた	36　（18.5%）	57　（17.2%）	3　（37.5%）	96　（18.0%）
無回答	1　（0.5%）	4　（1.2%）	0　（0.0%）	5　（0.9%）
計	195	331	8	534　（100%）

問７　スーパーに限らずどこのお店でもレジ袋を無料でもらうことに対して、あなたは罪悪感を感じますか？

■レジ袋を無料でもらうことに対して「何も感じない」が31.6％と最も多く、「罪悪感を感じる」はわずか4.9％である

□ここでの「罪悪感」は、今は有料となったレジ袋を無料でもらうということに対する罪悪感と、無料だからといってレジ袋をもらうことによって資源を無駄にしているということに対する罪悪感の２つに分けられるのではないかと考えられる

表２-７　自宅別レジ袋無料に対する罪悪感の感じ方の比較

	自宅通学（%）	一人暮らし（%）	兄弟生活（%）	無回答　（%）	計（人）（%）
罪悪感を感じる	20　（15.7%）	37　（11.5%）	3　（27.3%）	0　（0.0%）	23　（4.9%）
何も感じない	105　（82.7%）	284　（88.2%）	7　（63.6%）	11　（100.0%）	149　（31.6%）
無回答	2　（1.6%）	1　（0.3%）	1　（9.1%）	0　（0.0%）	2　（0.4%）
計（人）	127	322	11	11	471

問８・９・10　ごみの分別をしていますか？

■ごみの分別を家でしているは86.4％、大学でしているは88.3％、外出先でしているは86.8％と、どの場所でも分別をしている人が最も多い

■その中でも、大学では分別をしている人が88.3％と最も多い

■家でも大学でも分別をしていない人は3.6％と、１割にも満たない

□家、大学、外出のどれも分別をしている人が最も多いことから、場所が変わっても分別の意識は変わっていないと考えられる

□大学では分別をしている人が最も多いことから、家や外出先よりも大学の方がゴミの分別を徹底しているのではないかと考えられる

表２-８　ごみの分別をしていますか？

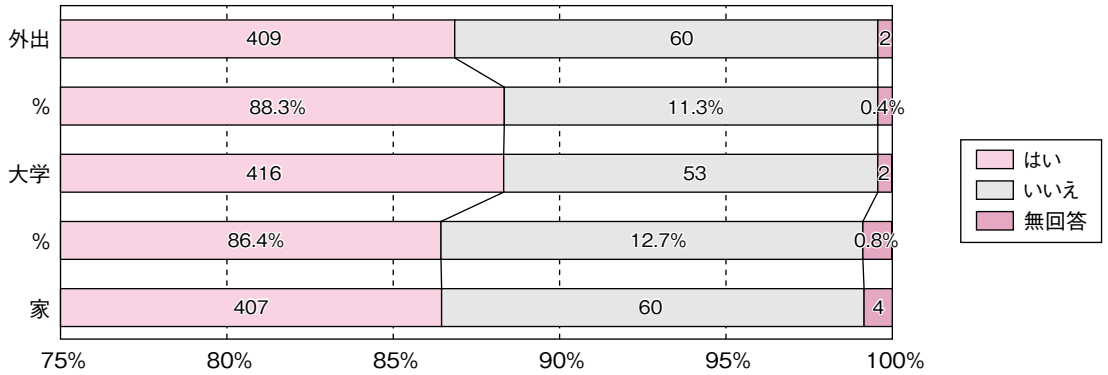
	家　（%）	大学　（%）	外出　（%）
はい	407　(86.4%)	416　(88.3%)	409　(86.8%)
いいえ	60　(12.7%)	53　(11.3%)	60　(12.7%)
無回答	4　(0.8%)	2　(0.4%)	2　(0.4%)
計（人）	471	471	471

※外出（大学を除く）

表２-９　家と大学でのごみの分別はしますか？

大学／家	はい　（%）	いいえ　（%）	無回答　（%）	総計
はい	369　(78.3%)	43　(9.1%)	4　(0.8%)	416
いいえ	36　(7.6%)	17　(3.6%)	0　(0.0%)	53
無回答	2　(0.4%)	0　(0.0%)	0　(0.0%)	2
総計	407	60	4	471

図２-６ゴミの分別意識をしていますか？



問７・11　あなたは、物を買う時、環境に配慮した商品を買うように心がけていますか？

■環境に配慮した商品を買うよう心がけていない人が358人と最も多く、心がけている人は110人と３分の１である

■環境に配慮した商品を買うよう心がけている人でも、問７のレジ袋を無料で貰うことに対して罪悪感を感じていると答えた人は25人と少ない

■環境に配慮した商品を買うよう心がけていない人でも、問７のレジ袋を無料で貰うことに対して罪悪感を感じていると答えた人は35人もいる

□問７のレジ袋を無料で貰うことに対して罪悪感を感じていると答えた人でも、環境に配慮した商品を

買うよう心がけている人は少ないことから、環境への配慮よりも、デザインや価格を気にして購買を決めていると考えられる

表２-10　あなたは物を買う時、環境に配慮した商品を買うように心がけていますか？

	はい　（%）	いいえ　（%）	無回答　（%）	計（人）　（%）（分母は「計(人)」の471）
罪悪感を感じる（分母は「罪悪感を感じる)」の60）	25　（41.7%）	35　（58.3%）	0　（0.0%）	60　（12.7%）
何も感じない（分母は「何も感じない」の407）	82　（20.1%）	322　（79.1%）	3　（0.7%）	407　（86.4%）
無回答	3	1	0	4
計（人）	110	358	3	471　（100.0%）

問12　あなたは「資源有効利用促進法」という法律名をきいたことはありますか？

■「資源有効利用促進法」を聞いたことがない人が82.4%と最も多い

表２-11　あなたは「資源有効利用促進法」という法律名をきいたことはありますか？

	計（人）　（%）
はい	81　（17.2%）
いいえ	388　（82.4%）
無回答	2　（0.4%）
計（人）	471　（100.0%）

問13　あなたは「容器包装リサイクル法」という法律名をきいたことはありますか？

■「容器包装リサイクル法」という法律名を聞いたことのある人が53.9%と最も多いが、聞いたことのない人も46.1%とほぼ同じである

表２-12　あなたは「容器包装リサイクル法」という法律名をきいたことはありますか？

	計（人）　（%）
はい	254　（53.9%）
いいえ	217　（46.1%）
無回答	0　（0.0%）
計（人）	471　（100.0%）

問14　スーパーのレジ袋有料化に賛成ですか？反対ですか？

■スーパーの「レジ袋有料化に賛成」が68.4%と最も多い

■レジ袋有料化に対しての賛成または反対の理由は共に「環境面」が最も多い

□昨年10月から有料化になり慣れてきたのだと考えられる

□「レジ袋有料化に反対」、「よくわからない」は合わせても30.0%であることから広島市の行なったレジ袋有料化の策は成功だと考えられる

表２-13　スーパーのレジ袋有料化に賛成ですか？反対ですか？

	計（人）　（%）
レジ袋有料化に賛成（欲しい人が有料で買えば良い）	322　（68.4%）
レジ袋有料化に反対（これまで通り無料で配布してほしい）	61　（13.0%）
よくわからない	80　（17.0%）
無回答	8　（1.7%）
計（人）	471

図２-10　レジ袋有料化に賛成か？反対か？

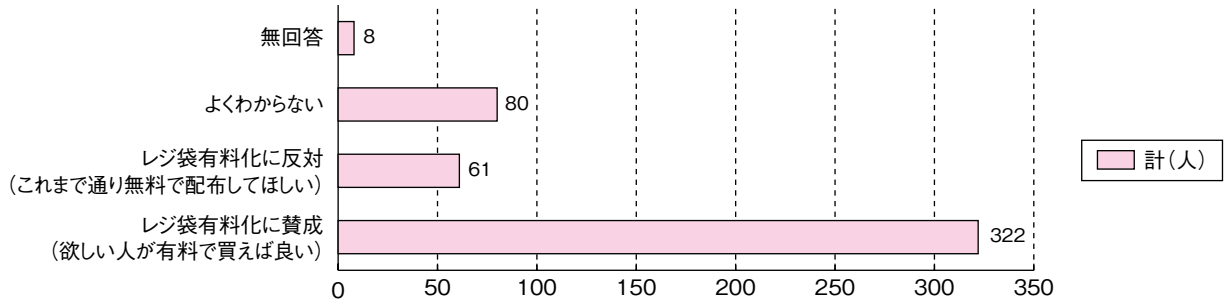
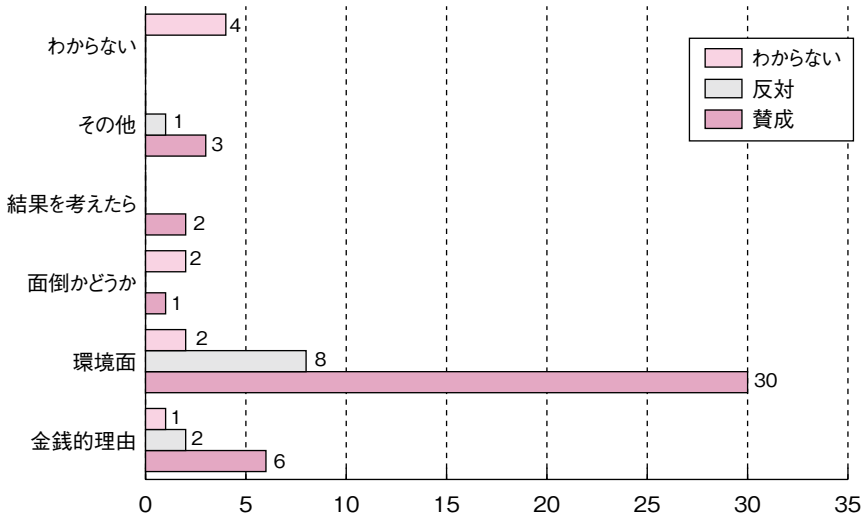


表２-14　レジ袋無料化に対しての「賛成または反対、わからない」の理由

	賛成	反対	わからない
金銭的理由	6	2	1
環境面	30	8	2
面倒かどうか	1	0	2
結果を考えたら	2	0	0
その他	3	1	0
わからない	0	0	4



レジ袋有料化についての学生の意識調査

このアンケートは，スーパーマーケット（以下スーパー）のレジ袋有料化についての意識調査をするもので，広島県内の大学生の皆様に対して実施しております。ご回答は匿名でいただきますし，調査結果は研究にのみ使用いたします。よって皆様のご迷惑になることは一切ございません。以上をご理解いただき，率直なご回答とご意見をお聞かせくださいますようお願いいたします。以下，問いに対して空欄に記載，あるいは該当番号を〇で囲み，お答えください。

比治山大学短期大学部総合デザイン学科　実務教育研究室　粟屋ゼミ
山根・栗原・河野・末原・高橋・竹田

Ⅰ　レジ袋有料化にについて	
問 1　あなたはスーパーで買い物をした場合に，商品をどうやって持ち帰りますか？回数の多いものを一つ選んでください。	①持参したエコバッグに入れる　②鞄に入れる　③手で持つ ④レジ袋の無料配布のお店を選び，レジ袋をもらって入れる ⑤スーパーで買い物をしないのでわからない ⑥レジ袋を買って入れる
問 2　あなたはコンビニエンスストアで買い物をした場合に，商品をどうやって持ち帰りますか？回数の多いものを一つ選んでください。	①持参したエコバッグに入れる　②鞄に入れる　③手で持つ ④レジ袋に入れてもらう ⑤コンビニエンスストアで買い物をしないのでわからない
問 3　問 1 で①と回答した方に伺います。エコバッグはどこで入手しましたか？(複数回答可)	①どこかでもらったもの　②自分で作った　③買った ④家族所有のものを借用
問 4　自分用のエコバッグを何枚持っていますか？	①1 枚　②２枚　③３枚　④４枚　⑤５枚　⑥６枚以上　⑦０枚
問 5　あなたは，2010 年 10 月から，広島県（一部除く）ではレジ袋が有料になったことを知っていましたか？	①知っていた　②知らなかった
問 6　あなたは，これまで無料配布されていたレジ袋は，どのように扱っていましたか？(複数回答可)	①捨てていた　②ゴミ袋として使っていた ③何かを入れるための収納袋として使っていた ④今後のために，とりあえず家のどこかに納めておいた
問 7　スーパーに限らず，どこのお店でも，レジ袋を無料でもらうことに対して，あなたは罪悪感を感じますか？	①罪悪感を感じる　②何も感じない
Ⅱ　環境に関することについて	
問 8　あなたは，家でゴミの分別をしていますか？	①はい　②いいえ
問 9　あなたは，大学でゴミを捨てる時，分別をしていますか？	①はい　②いいえ
問 10　あなたは，外出時（大学以外）にゴミを捨てる時，ゴミの分別をするよう心がけていますか？	①はい　②いいえ
問 11　あなたは，物を買う時，環境に配慮した商品を買うように心がけていますか？	①はい　②いいえ
問 12　あなたは，「資源有効利用促進法」という法律名を聞いたことありますか？	①はい　②いいえ
問 13　あなたは，「容器包装リサイクル法」という法律名を聞いたことありますか？	①はい　②いいえ
問 14　自宅から出されるゴミの 6 割は，物を包むビニール袋や紙袋，包装紙だそうです。そうしたゴミを削減するための策の一つとして，スーパーでレジ袋の有料化が行われています。その結果，広島県内のスーパーでは約 8 割のレジ袋の削減に成功したそうです。一方で，これまでレジ袋で代用していた袋（ゴミ袋や収納袋）を別途購入するという行為が増えたことも推測されます。こうした背景や実態を踏まえ，あなたはスーパーのレジ袋有料化に賛成ですか？反対ですか？ またあなたの意見を自由にお書き下さい。	①レジ袋有料化に賛成（欲しい人が有料で買えば良い） ②レジ袋有料化に反対（これまで通り無料で配布してほしい） ③よくわからない 上記選択の理由 （　　）
Ⅲ　あなたについて	
問 15　性別	①男　②女
問 16　年齢	（　　）歳
問 17　大学名	（　　）大学
問 18　現在住んでいる地域	（　　）県（　　）市 （　　）区 町 村
問 19　自宅から通学か，一人暮らしか	自宅から通学　一人暮らし　親元を離れ兄弟姉妹と生活

ありがとうございました

Ⅲ．企業のレジ袋等の削減による収益金とその使用用途

○平成21年10月から、レジ袋の無料配布中止の取組が全市へ拡大した。
○以下は広島市と締結した22業者の協定書第二項目の内容と、事業の報告を表にまとめたものである。（広島市HPにて企業名確認）
○22業者のうち9社がホームページに明確に表記している。

レジ袋無料配布中止事業者の取組状況

実施事業者名称	レジ袋削減による収益金の使用用途（協定書②）	実施事業の報告
イオンリテール㈱	レジ袋削減による収益金をリサイクル推進等の環境保全活動や地域貢献活動へ還元する。	レジ袋削減による収益金約1億2,520万円（対象期間：2009年度）の半分にあたる6,260万円でCO_2排出権を購入し政府に無償譲渡し、残り半分は店舗を置く地域の自治体や市民団体などをに寄付した。 http://www.aeonretail.jp/（2011年10月12日閲覧）
㈱イズミ	レジ袋削減による収益金をリサイクル推進等の環境保全活動や地域貢献活動へ還元する。	レジ袋削減による収益金の一部を、広島県みどり推進機構「緑の募金」へ寄付した。 http://www.green-hiroshima.or.jp/（2011年10月12日閲覧）
㈱エブリイ	レジ袋削減による収益金をリサイクル推進等の環境保全活動や地域貢献活動へ還元する。	表記なし
西條商事㈱	レジ袋削減による収益金をリサイクル推進等の環境保全活動や地域貢献活動へ還元する。	レジ袋削減による収益金55,041円（対象期間：2009年10月～2010年9月）を東広島市緑化推進委員会へ寄付した。 http://www.saijo-shoji.co.jp/（2011年10月12日閲覧）
㈱スパーク	レジ袋削減による収益金をリサイクル推進等の環境保全活動や地域貢献活動へ還元する。	レジ袋削減による収益金の一部を、広島県みどり推進機構「緑の募金」へ寄付した。 http://www.green-hiroshima.or.jp/（2011年10月12日閲覧）
㈱スーパーふじおか	ばら売り、簡易包装などによる包装の削減、食品トレー等の店頭回収を推進し、容器包装廃棄物の発生抑制、リサイクルの推進に努める。	表記なし
生活協同組合ひろしま	レジ袋削減による収益金をリサイクル推進等の環境保全活動や地域貢献活動に活用し、その内容を公表する。	レジ袋削減による収益金59万4,815円（対象期間：2009年度）は、アイドリングストップ標準仕様の配送車両購入や、ペレットストーブ（間伐材をペレット状に加工し燃料として使用するCO_2の削減に有効なストーブ）の購入の一部として使用している。 http://www.hiroshima.coop/（2011年10月12日閲覧）
大黒天物産㈱	レジ袋削減による収益金をリサイクル推進等の環境保全活動や地域貢献活動へ還元する。	表記なし
㈱ノムラストアー	レジ袋削減による収益金をリサイクル推進等の環境保全活動や地域貢献活動へ還元する。	表記なし
㈱天満屋	レジ袋削減による収益金をリサイクル推進等の環境保全活動や地域貢献活動へ還元する。	表記なし
㈱ハーティウォンツ	簡易包装などによる包装の削減を図り、包装廃棄物の発生抑制に努める。	表記なし
㈲はなわ	レジ袋削減による収益金をリサイクル推進等の環境保全活動や地域貢献活動へ還元する。	表記なし
㈱広電ストア	レジ袋削減による収益金をリサイクル推進等の環境保全活動や地域貢献活動へ還元する。	レジ袋削減による収益は、については、環境保全活動または地域貢献に還元するよう考えている。 http://www.madamjoy.jp/（2011年10月12日閲覧）
㈱フジ	レジ袋削減による収益金をリサイクル推進等の環境保全活動や地域貢献活動へ還元する。	レジ袋削減による収益金は、広島県みどり推進機構「緑の募金」への寄付や、地域の環境、社会貢献活動に利用している。 http://www.green-hiroshima.or.jp/，http://www.the-fuji.com/（2011年10月12日閲覧）
㈱藤三	レジ袋削減による収益金を商品の販売価格によりお客様へ還元する。	表記なし
㈱フレスタ	レジ袋削減による収益金の一部をリサイクル推進等の環境保全活動や地域貢献活動に活用し、その内容を公表する。	表記なし
㈱マイカル	レジ袋の販売による収益金が生じた場合には、その収益金を環境保全活動や地域貢献活動に活用する。	表記なし
マックスバリュ西日本㈱	レジ袋削減による収益金をリサイクル推進等の環境保全活動や地域貢献活動に活用し、その内容を公表する。	レジ袋削減による収益金約1,546万8268円（対象期間：2009年度）の半分にあたる773万4134円でCO_2排出権を購入し環境省へ譲渡し、残り半分は広島県みどり推進機構「緑の募金」や、行政の基金、寄附金、環境教育関連資材等として寄贈した。 http://www.green-hiroshima.or.jp/，http://www.maxvalu.co.jp/main/index.html（2011年10月12日閲覧）
㈱万惣	レジ袋削減による収益金をリサイクル推進等の環境保全活動や地域貢献活動に活用し、その内容を公表する。	記載なし
㈱ユアーズ	レジ袋削減による収益金をリサイクル推進等の環境保全活動や地域貢献活動に活用し、その内容を公表する。	レジ袋削減による収益金の一部を、環境保全活動へ協賛している。 http://www.yours.co.jp/（2011年10月12日閲覧）
㈱レッツ	レジ袋削減による収益金をリサイクル推進等の環境保全活動や地域貢献活動に活用し、その内容を公表する。	表記なし
㈱レディ薬局	レジ袋削減による収益金をリサイクル推進等の環境保全活動や地域貢献活動に活用し、その内容を公表する。	表記なし

Ⅳ．考察

今回のアンケート結果を踏まえ、学生がどれだけ環境に対して興味関心を持ち、配慮をしているか。さらに、このことが、環境保全に対する意識付けとなったのかどうか、ということを主題に、分析・考察を行った。

まず、レジ袋の有料化については、学生の認知度は高いことが明らかになった。実際のレジ袋の利用率より、女性は「エコバック持参」、「鞄にいれる」など、レジ袋を使用しない傾向が読み取れるが、レジ袋の購入率はゼロではない。男性は「鞄にいれる」が最多数であるが、続いて「レジ袋を購入する」と回答した割合が多かった。レジ袋の有料化の認知度の高さと、レジ袋の使用有無は、関連性がないと考えられる。しかし、レジ袋が有料化したことにより、「エコバックを使う」学生が増えていることも見て取れる。また、問14の結果も合わせて考えると、環境に配慮していることも伺える。レジ袋の有料化に賛成という学生が最も多いことを併せ考えれば、有料化の意図が「環境への配慮」だということが理解されているのではないかと思われる。

注意すべき点は、レジ袋が無料だった頃は、レジ袋を単なるゴミとして捨てている者は少なく、何らかの形で使用、再利用していたことが、調査結果から明らかとなったことである。レジ袋の有料化により、レジ袋をゴミ袋として利用していた消費者が、新たに家庭用ゴミ袋を別途購入しなければならなくなったことを考えれば、資源の節約にはなっていないのではないかという懸念が生まれた。

実際にレジ袋の購入を止めたり、エコバックを持つようになってはいるものの、問７の結果から分かるように無料で袋をもらうことに関して「罪悪感を感じない」と答えている学生が８割を占めており、エコバック使用、レジ袋有料化に賛成が多いことと対比して考えてみると、「罪悪感」の有無は環境に配慮しようという意思と関連性がないことが考えられる。

またゴミの分別をしていると解答した学生が、８割強と多く、環境を意識した行動をしている学生が増加しているのではと考えられる。資源循環に関する法制度の認知度は決して高くはないが、問８、９、10と比較し考察すると、実際に行動できているか、配慮できているかという事実は、法律名の認知度とは全く関連性のないものだと考えられる。

以上のことより、レジ袋は今まで無料でもらっていたものであるから、「レジ袋を無料でもらう」事に対しての罪悪感は薄い。（問７）しかし、家庭や学内、外出先でゴミの分別に取り組んでいる学生は多く、環境に配慮しているのであれば、レジ袋の有料化に賛成だという意見も多い。また、環境に配慮した商品を購入するか否かのという問では「いいえ」の回答が多かったものの、学生の環境への意識が低いわけではないことが明らかとなった。（問８・９・10・14）。さらに、レジ袋を使わず、持参したエコバックや鞄などに入れるなどの意見が半数以上を占めることから、学生は身近なこと、気軽に取り組めることから取り組んでおり、環境に配慮しようとしている傾向が見て取れた。

そして、実際にレジ袋が削減され、資源が大幅に節約されていることや、学生の環境保全への取り組みを見ると、広島市の施策は成功したのではないか、と考えられる。

謝辞

最後になりましたが、この度私共の調査研究にご協力くださいました、各機関の皆様、アンケートに回答してくださった学生の皆様に心より御礼申し上げます。また、中国経済産業局資源エネルギー環境部　環境・リサイクル部　藤本俊文さん、松本清克さんにおかれましては、レジ袋について研究する上で、資源有効利用促進法及び、容器包装リサイクル法等の話をしてくださりありがとうございました。

最後まで熱心なご指導、助言をくださいました粟屋仁美先生に、心より御礼申し上げます。

《執筆者紹介》

2011年度比治山大学短期大学部総合生活デザイン学科

実務教育研究室ゼミナール生

栗　原　めぐみ

河　野　有　希

末　原　早　織

髙　橋　美　貴

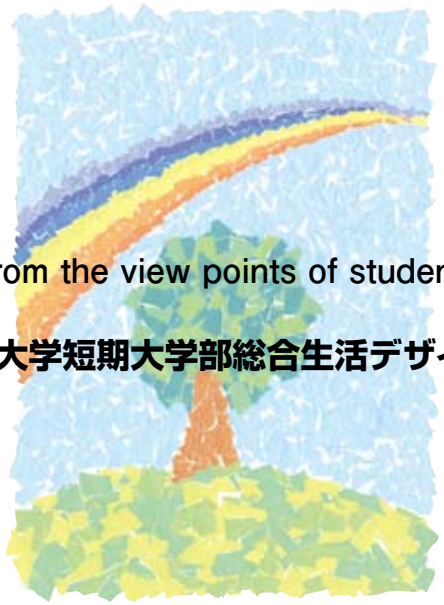
竹　田　彩　乃

山　根　美南海

（50音順）

レジ袋有料化についての学生の意識調査

発行日　2011年11月18日
監修　比治山大学短期大学部総合生活デザイン学科
粟屋仁美
執筆者　2011年度比治山大学短期大学部総合生活デザイン学科
実務教育研究室ゼミナール生
発行　比治山大学短期大学部
印刷所　中本総合印刷株式会社



From the view points of students

比治山大学短期大学部総合生活デザイン学科

VEGETABLE OIL INK